

第2回 障がい者の生涯学習の推進に向けた調査及び研究に係るワーキングチーム会議

日時:令和6年度(2024年度)10月22日(火)10:00～

会場:北海道立生涯学習推進センター(ハイブリッド)

次 第

1 開会

2 説明

「ワーキングチームにおける調査・研究の確認」

北海道立生涯学習推進センター主査 森 健太郎

3 協議

(1) 視察における成果と課題について

(2) 障がい者の生涯学習の普及・啓発について

4 閉会

Zoom ミーティング

ID: 878 4332 7035

パスコード: 023288

調査研究の構造

テーマ

市町村における社会教育中期計画等への「障がい者の生涯学習」の位置づけの実態
～障がい者の生涯学習を特別なものにしないために～

研究の目的

各種計画に「障がい者の生涯学習」に関する目標や事業を位置づけている都道府県や市町村への調査等を行い、障がい者の生涯学習を位置づけた計画策定に向けた課題を把握するとともに、障がい者の生涯学習を進めるための効果的な計画づくりについて調査分析し、その成果を発信することで、各市町村において障がい者の生涯学習の推進に向けた様々な取組の展開に資することを目的に実施する。

研究計画・方法

◆実態調査

○障がいの有無に関わらず事業等に参加ができるかなどの実態を道内 100 名程度（任意）から調査

・事業実施上の成果と課題、地域の実情やニーズの把握

◆研究方法（ヒアリング）

○市町村における計画等への位置づけや関係団体における実態の把握
○SNS やアプリ等による障がいの有無に関わらない学びの場の普及啓発

【方法】

・道内外の先進事例を収集・分析
・実態調査と先進地との関連について考察

◆共生社会における地域づくりの実態を研究

○障がいの有無に関わらず、地域全体で住民が参画した地域づくりを行うための方法について、先進地の事例から考察する。

【方法】

・先進地へ視察し、関係者にヒアリングを行い、都道府県や市町村での実態について調査する。

【視察先】

・長野県栄村
限界集落における地域のつながりづくり
・新潟県十日町市
障がいの有無に関わらず、まちが一体となった生涯スポーツの取組
・北海道滝川市
障がいのある児童への体験活動
・北海道鶴居村
村と NPO 法人が一体となった障害者支援の取組

◆普及啓発のための工夫

○障がいの有無に関わらず、誰もが学ぶことができるための学びの場の普及啓発

【方法】

・県教委と大学等の連携など、コミュニティを拡げるための工夫について調査する。

【視察先】

・兵庫県（神戸大学）
誰でも学び場を知ることができる「学び場アプリ」の開発と利用状況
・大阪府豊中市
学校におけるインクルーシブ教育と地域とのつながり（学校卒業後も地域で関わり続ける取組）
・東京都練馬区
SNS を使った「学びの場づくり研修室」の取組

道内への普及・啓発

○リーフレットを作成するなど、先進地の取組を道内へ普及
・調査研究報告書の発行（令和 7 年 3 月予定）
・調査報告書のホームページへの掲載
・調査報告書の道内市町村、関係団体等への送付
・社会教育セミナー等での成果発表

ヒアリングのまとめ

○障がい者も含めた学びによるまちづくりに資する取組について取り上げる。
○誰でもいつでも学べる機会についての普及啓発方法の検討

期待される効果

本調査研究の普及啓発により、市町村における障がいの有無に関わらずに誰でも学べる機会の創出に資する社会教育中期計画等への位置づけを促す。